

ボローニャ大学への協定留学（交換留学）月例報告書（9月分）
文化政策学部 国際文化学科3年

【はじめに】

みなさんこんにちは！2025年9月から2026年7月までの10か月間、イタリアのボローニャ大学に留学しています。この月例報告書を通して現地での生活や文化をお伝えできれば幸いです。

【ボローニャに到着するまで】

私は9月1日23:45関西国際空港発の便で出発、ドバイを経由（乗り継ぎ4時間40分）して2日13:40にボローニャに到着しました。航空会社はエミレーツ航空を利用しました。飛行機に乗るのは2度目で、乗り継ぎや入国に不安がありましたが、ロストバゲージなどのトラブルもなく無事にボローニャに到着することができて本当に良かったと思います。

【到着後の手続き】

到着後の約2週間は、各種手続きに追われました。大学のチェックイン、スマホの契約、滞在許可証の申請、Codice fiscale（税番号）の取得など、慣れないことが続き大変でした。私はイタリア語も英語も十分に話せませんが、知り合った日本人の方に助けていただきながら、ボディランゲージと簡単なイタリア語を駆使してなんとか乗り切ることができました。

語学力が最も低い渡航直後に多くの手続きをしなければいけないのがストレスでしたが、やり遂げられたことは自信になりました。

【私立の語学学校】

大学のイタリア語クラスは、10月2週目から始まる予定だったので、それまでは私立の語学学校に通いました。2週間のコースに登録していましたが、滞在許可証の申請や体調不良が重なり、実際に通えたのは1週間分でした。

クラスの人数は10名ほどで、ブラジル人・韓国人・オランダ人など様々な国からイタリア語を学びに来ていました。午前中は文法の授業をして途中barで休憩、午後はスピーキングといった授業内容でした。

クラスメイトは、授業で学んだ文法を使って話しかけてくれたり、授業後にランチに誘ってくれたりしたのでとても嬉しかったです。



• Cornetto al pistacchio
• Cappuccino



おいしそうで
感動的 Pizza

イタリアが
朝ごはんといふ食べる
Goccirole
(ショコラトワッキー)



【イタリアでの暮らし】

イタリアに来てまず驚いたのは、犬の多さです。街を歩くと bar や洋服屋さんなど、いたるところに犬を連れた人を見かけます。私は犬が好きなので嬉しいですが、動物が苦手な人は注意した方がいいかもしれません。

また、最近ボローニャでは、イスラエル・パレスチナの情勢に関連したストライキやデモが頻繁に行われています。領事館やイタリア人の友人からも注意を呼びかけられました。ストライキやデモは日本にはあまりない文化なので新鮮に感じましたが、過激なデモなどに巻き込まれないように、身の安全を最優先に行動しようと思います。

とはいって、ボローニャは散策するだけで楽しい街です！中心部はいつも人で賑わっており、音楽隊の演奏もよく耳にします。街中の教会にふらっと入ったり、休憩がらジェラートを食べたりして楽しんでいます。これからもたくさん出歩いてスニーカーをすり減らしていこうと思います。

【これから】

10月からは本格的にイタリア語の授業が始まります。そこでしっかり学んでインプット・アウトプットしていき、色々な人と交流できるように積極的に行動していきます。

また、留学中は大学で学んだルネサンスの絵画や建物を実際に目にする絶好の機会でもあります。家に籠るのではなく、様々な都市を訪れて自分の目で本物に触れてみたいと思います。

最後まで読んでいただき、ありがとうございました。Arrivederci!



初めてのマック



いつも混んでる
ジェリーカ



ボローニャの街のシンボル
Due torri



本場の
Bolognese!



天井画が美しい教会